

## 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立美原西小学校  
校長 池田 真由美

中学校区におけるめざすことも像『自らを律し、自ら学び続ける子』  
あらゆる教育活動を通して、学ぶことの楽しさを知る子どもを育てる。その実現に向け、4つの柱「学びに向かう力」「復習・学びなおし」「言語活動」「家庭学習」に重点的に取り組む。基礎的・基本的な知識・技能の習得を大切に、これらを活用して課題の解決に向けて思考力・判断力・表現力を働かせる場面を積み重ね、自ら学びに向かう児童生徒を育成する。

- 令和8年度 重点目標 合言葉「やってみよう！」**
1. 「総合的な学力」の育成 ～子どもの学力と好奇心を伸ばす学校【知】
  2. 豊かな心の育成 ～互いを認め合い、優しさあふれている学校【徳】
  3. 健やかな体の育成 ～子どもが外で元気に遊ぶ学校【体】

<p><b>「確かな学び」の現状</b> 保護者アンケートでは授業を肯定的に捉える割合が83%、児童アンケートでも81%と高く、学校の授業を楽しんでいる児童が多いことが分かる。今後も学校全体で、子どもが主体的に楽しみながら学べる授業づくりを進めていきたい。一方、自主学習については児童の肯定的評価が43%にとどまるが、保護者では71%となっており、家庭での努力がうかがえる。これを踏まえ、自主学習イベントの継続に加え、計画的に取り組む機会を充実させたい。漢字については平均88点と定着が見られ、児童の肯定的評価も高いため、継続した取組を行う。また、友だちと学び合うことへの肯定的評価は非常に高く、今後も対話を通して考えを深め、自分の考えを伝えられる学びを重視していく。</p>	<p><b>「豊かな心・健やかな体」の現状</b> 児童アンケートでは自己肯定感に関する肯定的評価が75%、保護者アンケートでは91%と、年間を通して目標値を概ね維持することができた。今後も、一人ひとりのよさを認め合い、自尊感情を高められる取組を継続していきたい。道徳に関する項目では、児童・保護者ともに93%と高く、道徳科での学びを日常生活に生かそうとする姿が見られる。さらに、思いやりに関する項目では肯定的評価が91%以上を維持しており、縦割り活動などを通して、相手を大切にする行動が育まれている。また、いじめ防止に関する項目では、児童96%、保護者100%と非常に高く、今後も継続した指導が求められる。一方、体力面では課題が見られる学年もあり、体育授業での工夫や生活習慣の改善に、家庭と連携して取り組んでいく必要がある。</p>
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	総合的な学力の向上	・子どもが楽しいと思う授業づくりに取り組む。  ・自主学習に取り組む習慣を形成する。	●子どもが「楽しい」と思えるような授業づくりを計画し、主体的に学ぶ姿勢を養う。	「学校の授業は楽しいですか」で肯定的評価80%以上	児童アンケート 授業観察	9月1月			
			子どもが継続的に自主学習に取り組むように、学校全体で工夫して指導する。	「自主学習に取り組むことは大切だと思いますか。」と「進んで自主学習に取り組んでいますか」で肯定的評価70%以上 保護者アンケート「自主学習ノートに積極的に取り組んでいる」肯定的評価70%以上	児童アンケート 保護者アンケート 授業観察	9月1月			
		・漢字学習を楽しんでいる児童を育成する。  ・自分の考えを表現する力を育成する。  ・友だちと学び合うことを大切にできる児童の育成	●子どもが漢字が楽しいと思えるような工夫した指導を学校全体で行い、漢字を主体的に学ぶ児童を育成する。	「漢字の学習に取り組むことは大切だと思いますか。」で肯定的評価80%以上	児童アンケート 授業観察	9月1月			
			自分の考えを持つ機会を積極的に取り入れ、自分で考えて表現する力を向上させる。	「自分の考えたことを表現することができますか」で肯定的評価70%	児童アンケート 授業観察	9月1月			
			●対話を通して、考えを深めることができる学習活動を取り入れる。	「友だちと一緒に学習することは好きですか」「友だちと話して活動することで、考えを深めることができますか」で肯定的評価80%以上	児童アンケート 授業観察	9月1月			
豊かな心・健やかな体	自尊感情の醸成	豊かな人権感覚と道徳性の育成を図る。	●物事を最後までやりとげる成就感、達成感を味わう体験を増やし、自尊感情を醸成する。	児童及び保護者アンケート「自分には、よいところがあると思う」で肯定的評価75%以上	児童アンケート 保護者アンケート 活動観察	9月1月			
			道徳等で学習したことを仲間づくりに活かし、思いやりの心を養う。	「道徳で学習したことは大切だと思いますか」で肯定的評価70%以上 「道徳等で学習したことを活かして友達と協力して活動できていますか」で肯定的評価70%以上	児童アンケート 活動観察	9月1月			
		互いの気持ちを尊重し、思いやりを持つ子どもを育てる。	たてわり活動を通して、互いを尊重し合う人間関係を構築する。	「互いを思いやることができますか」肯定的評価80%以上	児童アンケート 活動観察	9月1月			
			●いじめはどんなことがあってもしてはいけないことだということを理解させるとともに、安心・安全な学校づくりをしていく。	児童アンケート「相手の気持ちを考えて行動していますか」肯定的評価80%以上 保護者アンケート「子ども	児童アンケート 保護者アンケート	9月1月			

				は、相手を思いやり、いじめはしてはいけないことであると理解している」肯定的評価85%以上						
体力向上	・意欲的に運動する児童を育成するとともに、規則正しい生活習慣の重要性を理解させる。	●体育やチャレンジタイムで「体幹トレーニング」や「リズムなわとび」、「西小サーキット」を、委員会活動で「西小チャレンジ」を企画し、継続して運動に親しむ機会を提供し、運動好きな児童を増やす。	・各企画への参加率：90%以上 ・運動が好きな児童の増加 ・外遊びに行く児童の増加 (5・1月比較)	児童アンケート 新体カテスト	9月1月					
		ほけんだよりや保健指導を通して、規則正しい生活の重要性を理解させ、意識を向上させる。	「早寝・早起き・朝ごはん、運動は健康のために大切だと理解している」肯定的評価80%以上	児童アンケート 保護者アンケート	9月1月					
地域共同 信頼される学校	関係機関との交流の深化を図り、地域協働による子どもの育成を図る。	地域教育協議会及び自治会・PTAと協働した取り組みを行うことで、地域連携を深める。地域の課題に対応した取り組みを年間1回は全校で取り組む。	子どもは地域やPTAの行事に参加している」肯定的評価80%以上	児童アンケート 保護者アンケート 活動報告	9月1月					
		地域の幼稚園、中学校、農芸高校との双方向の関係を強化し、地域の学校園との交流を各教科の学習に位置付け体験活動の充実を図る。	「学校は地域の学校園との交流を積極的に行い、各教科等の体験活動の充実を図っている」肯定的評価90%以上	児童アンケート 保護者アンケート 活動観察	9月1月					

校長より（年度末）

学校関係者評価者から（年度末）